

# 第5回新潟市田園資源活用検討委員会

## 会 議 録

平成27年9月28日（月）午後2時開会  
会場 秋葉区役所401会議室

# 第5回新潟市田園資源活用検討委員会 会議録

日時 平成27年9月28日(月)

午後2時から

会場 秋葉区役所401会議室

■出席委員 立田委員, 佐藤委員, 平野委員, 本間委員, 前田委員, 山口委員, 渡邊委員

■事務局 環境部環境政策課, 農林水産部農業政策課, 秋葉区役所産業振興課

## 1. 開会

## 2. 議題

### (1) 今年度モニター事業(案)について

#### ○事務局説明(省略)

#### ○質疑応答

(事務局)

モニター事業については,ここに集まった委員の皆さんの総力を挙げ,もみ殻を新潟市の中でビニールハウス用燃料として使っていく可能性をしっかりと見いだしていきたいと考えております。全体の燃料やボイラー導入に関してはWPPCの佐藤委員に監修・ご協力いただきたいと考えております。また灰の活用については,園芸用のポットの基材などに活用できないかと考えております。

(佐藤委員)

無加工もみ殻ボイラーは温水ボイラーです。ボイラーを設置させていただける農家さんを探し,話をさせていただくのですが,もみ殻の大変さというイメージを払拭できずにいます。かさばる燃料を必要とする事や大量の灰の処理をはじめ,設備設置面積をかなり確保しなくてはいけないと言った課題を懸念されます。それと灰を保管する場所も農家さんで確保しなくてはいけないのかと質問を受けます。

(事務局)

モニター事業ですので,灰を市が引き取る事も検討します。ただ将来的には自走していかなくてはいけないので,農家の方がご自身で灰を管理し,有価物として販売する事を,モニター事業で道筋をつけていければと考えています。まずは使っていただかないと先に進めませんので,市の施設を灰の仮置き場に使うことについて,今後ご相談させていただければと考えております。

(平野委員)

モニター事業に参加する農家の条件をもう少し詳しく教えてください。

(事務局)

初年度は WPPC さんから協力していただける農家さんを推薦していただき、市が依頼する方向です。協力いただける農家さんには、燃料代や、機器の費用負担がないようにしたいと考えておりますが、委託料のお支払いは難しいと考えております。ボイラー導入によって増える作業として、毎週のようにカントリーエレベーターにもみ殻を取りに行く必要があると考えております。取りに行くのは誰がするのか、灰が溜まったときに誰が持って行くのかと言う所は、まだモニター事業の制度設計が出来上がっていない状態ですので、そこは農家さんとのご相談しながら、どこまでが受け入れ可能で、どこからが難しいかを見極めながら、モニター事業の内容を詰めていきたいと考えております。

(前田委員)

モニター期間が終わった後はどうなるのですか。

(事務局)

市からのモニターの支援というのは期間が終われば一旦終了になります。今年度からモニター事業を実施して、その効果や現場農業者の声を広めることを平成 28、29 年度で予定しております。今後の実証結果を見ないといけません、効果があるということであれば、農林水産部の「がんばる農家支援事業」のメニューとして全市的な普及を図れないかと考えております。

(本間委員)

木質ペレットの時から思っていたのですが、良いものだという事を農家の皆さんが理解されれば自分でやってみたいという人が出てきます。我々がモニターになり、良いものだという事を皆さんに伝えれば、やってみようと思う農家は現れます。

佐藤委員が説得に苦勞されている無加工のもみ殻ボイラーは、急ぐ必要があると思います。もみ殻になると相当大きなサイロが必要になります。濡らすわけにいかないので建物も必要となった場合、簡単に頼みますとはいかないでしょう。

## (2) 田園資源活用計画(案)について

### ○事務局説明(省略)

### ○質疑応答

(渡邊委員長)

プロジェクトの視点の部分については、一般論が大きいようですが、新潟市の独自の視点も盛り込めれば、より田園資源の活用と言った部分が見えてくると思います。新潟市はもみ殻の発生が多いですが、例えば 1 2 次産業に向けてどう道筋を付けていくのかと言っ

た視点や、モニター事業ですが、新しい事を行っていくということで若手の就農者を増やしていくような視点があれば、これからの新潟市における農業と田園資源の活用と言ったものが更にクローズアップされていくのではないかと思います。

### (3) 平成28年度重点事業(案)について

#### ○事務局説明(省略)

#### ○質疑応答

(渡邊委員長)

モニター事業にも関係しますが、焼却灰の効果検証はどのような作物で考えていますか。

(事務局)

新潟らしさと言う事で園芸のポットの基材での活用を考えております。水田での効果も考えておりますが、射水市さんとの重複がないように考えております。

(渡邊委員長)

ケイ酸は畑の作物には作用しないと言われておりますので、園芸でケイ酸を入れて効果がないということも考えられます。独自性を出すと言うところで園芸をメインにしながらも、選択肢を広げて他の作物も検討された方が、使用の実例をお示しできるという点で、大事ではないかなと考えます。

### 3. その他(省略)

### 4. 閉会